

## 指でクイックイツ...Entre Guillemetsの使い方

---



フランス人の日常会話で頻繁に出てくるけれど、教科書を調べても載っていない。フランスで生活しているとそんな言葉にたくさん出くわします。今回はその1つ **Entre guillemets** (アントルギユメ) をご紹介いたします。

### 「指でクイックイツ」を言葉で表現する

皆さんも一度は見たことがあるかと思います。欧米人が両手でピースサインを作って、人差し指と中指をクイックイツと2回曲げるジェスチャー。指で引用符「 “ ” 」を作って、話している内

容をカッコで囲っているという表現ですが、これを言葉にしたものが Entre guillemets です。

Entre が「**あいだ**」、Guillemet は「**山カッコ**」つまり「**《 》**」のことで、通常複数形で使い、「**カッコの中**」という意味です。フランスではジェスチャーだけでなく言葉でもよく使われるんです。

---

## どんな時に使われる？

---

### 「いわゆる」と言いたい時

「いわゆる」「まあそんなところ」というような表現をしたい時に使います。本当の意味の裏返しのような、皮肉を言う時の表現にもなります。例えば、明らかに仮病だと分かっている場合の友人に関する一言。

Hier comme elle était "malade", elle n'a pas pu venir au dîner.  
昨日彼女は「体調が悪かった」から、夕食に来なかった。

malade と言いながら指でジェスチャーをするか、言葉で elle était **entre guillemets** malade

と言うか、どちらでも表現できます。「本当は別の理由で来れなかったのに」という意味を含んだ内容になります。

---

### 他人の言葉を引用する時

本や新聞などの言葉を引用する時にも使われます。この場合は指のジェスチャーではなく、言葉での表現が多く使われます。

Saint-Exupéry a écrit **entre guillemets** L'essentiel est invisible pour les yeux.  
サン＝テグジュペリは「大切な物は目に見えない」と書いた。

## 使いこなせたら “ 上級者 ” ！

ジェスチャーではなく言葉でカッコを付けるなんて想像もしていなかったので、始めて聞いたときは「...アントルギユメ...アントルギユメ」と発音は聞き取れても綴りが分からず、辞書で調べることもできませんでした。

そんな時、発音から意味を質問できる[スカイプレッスン](#)は便利ですね。

私も会話の中で使ってみたいけれど、使用のタイミングがなかなか難しい。使いこなせるようになったら、“ フランス語上級者 ” と言えるかもしれません！



執筆 Emi

オンラインフランス語学校  
**ENSEMBLE EN FRANÇAIS**  
アンサンブルアンフランセ

オンラインフランス語学校アンサンブルアンフランセは、プロの講師によるマンツーマンのスカイプレッスンが1回1500円～受講できます。いつでもどこでも手軽に受講できる利便性と生徒一人一人にカスタマイズされた質の高いレッスンが好評です。

